



令和5年二十歳を祝う会

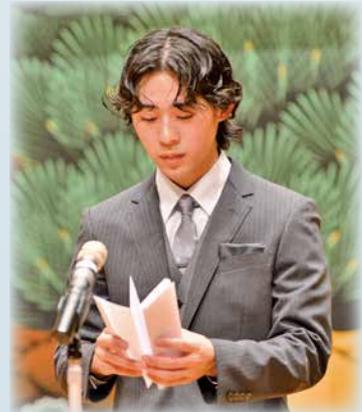


1月8日(日)、成東文化会館のぎくプラザで二十歳を祝う会が行われました。
成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたことにより、今年から名称が「成人式」から「二十歳を祝う会」へ変更されました。

新たに二十歳となる方々で組織された二十歳を祝う会実行委員が記念冊子の作成や、式典の司会など二十歳を祝う会の企画・運営を行いました。

会場には、華やかな晴れ着やフレッシュなスーツ姿に身を包んだ方々が集い、懐かしい旧友との再会を喜び、近況を伝え合ったり、お世話になった恩師や保護者へ感謝の気持ちを伝えたりと、にぎやかな様子でした。

二十歳を祝う会を代表して成東東中学校出身の秋葉大翔さん、山武南中学校出身の花澤日香里さん、松尾中学校出身の猪野尾ククルさんの3名が大人としての自覚や次世代を担う決意を込めた「誓いのことば」を堂々と述べました。



山武市教育委員会委員 年頭所感

内田 淳一 教育長

「雲外蒼天」という言葉があります。意味は、雲を突き抜けたその先には青い空が広がっているということ。教育委員会に準えるなら、＜数多の教育課題を乗り越えたその先には沢山の人の笑顔が広がっている＞でしょうか。蒼天を目指し、出来ることを一つずつ着実に進めてまいります。

木島 弘喜 委員

『果たして坂本龍馬は真の英雄だったのか?』当たり前と言われる常識に対し疑念を抱き、周囲の言葉に惑わされず自分の頭で考え、行動できる人間。自分の意思、信念をしっかりと持った人間の育成に必要な教育とは何なのか。まずは、私自身が坂本龍馬を深めることからスタートです。

鈴木 智子 委員

未来ある子どもたちには、泥棒に入られても火事になっても、決して誰にも奪われないことを沢山作って欲しいです、お金でもない財産でもない。【それは経験です!】絶対に「どうせ無理!」と諦めず、失敗を恐れないで色々なことにチャレンジしてほしいです。

今関 百合 委員

「3年ぶりの〇〇」というフレーズがあちこちから聞かれる日々。制約があったからこそ実際に体感することがどんなに大事なことであるか気づかされました。これからはじまる新しい日常の中で、たくさんの経験を通じて、成長しつづける環境を作っていきたいです。

北田 昭雄 委員

新型コロナウイルス感染対策のため、学校での教育活動も大幅な制限を余儀なくされましたが、県の方針の改定等もあり、日常を取り戻しつつあります。ピンチを前進のためのチャンスと捉え、各学校での地道な教育活動の展開を教育委員会は支援して参ります。

相葉 英樹 委員

昨年、サッカーワールドカップでは日本代表が強豪国を相手に活躍し、多くの日本人が励まされ奮起したと思います。諦めない気持ち、自分への自信、人を信じることにより、自分を大きく飛躍できるのだと感じさせられました。未来ある子どもたちにも可能性を切り開く、その一助になれるような活動をしていけたらと考えております。

日本語教育充実へ城西国際大学と協定

1月18日、市内小・中学校に在籍する外国人の増加に伴う日本語指導のために、山武市と山武市教育委員会は、城西国際大学と小・中学校の外国人児童生徒に対する日本語教育に関する協定を結びました。

市内の小中学校の教職員に対して、昨年3月、同大学の日本語教育を専門とする教授から、日本語指導法についての講座を開催していただき、指導力の向上に努めています。

また、同大学の大学生と外国人児童生徒が、月に1度、日本語交流会を開催しています。

交流会では、かるたなどの遊びや季節ごとに行う日本の伝統行事の紹介を通じて、日本語を楽しく学んでいます。大学生の皆さんが、活動内容を工夫して教えてくださり、着実に外国人児童生徒の日本語力が向上しています。習字に挑戦したり、年賀状を書いたりする等、興味をもたせながら、楽しく日本語を学ぶ姿がみられました。

今後も城西国際大学と連携し、山武市の日本語教育に大きな力添えいただきながら、活動していきます。

「山武市及び山武市教育委員会と城西国際大学との外国人児童生徒の日本語教育支援に係る連携協定」締結式
山武市・山武市教育委員会・城西国際大学



総合教育会議開催

1月20日、24日に総合教育会議が開催されました。総合教育会議は市長と教育委員会が地域の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的に開催されています。

今回は、8月24日に開催した第1回総合教育会議に引き続き「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置について」を議題とし、成東中学校と成東東中学校の統合校の位置等について意見交換が行われました。総合教育会議の会議録や使用した資料は、教育委員会ホームページに掲載されますので、ご覧ください。



第71回 左千夫短歌大会

1月29日(日)、成東文化会館のぎくプラザホールで選者に日高堯子先生を迎え、左千夫短歌大会表彰式を実施いたしました。市内外から詠草3113首が集まりました。左千夫賞・山武市長賞の詠草と他の受賞者のお名前を紹介いたします。

【一般の部】

左千夫賞

宇宙から つるり生まれて
きたような

露を宿して 茄子の紫

東金市 片岡靖子

山武市長賞

芽吹きたる 樹も焼けおりて
ウクライナ

子らの叫び居る 声の痛まし

千葉市 近藤フニ

山武市議会議長賞

東京都文京区 遠藤玲奈

山武市教育委員会教育長賞

長生郡長南町 古市安紀子

山武市社会教育委員長賞

山口県光市 瀬戸内光

山武市歴史民俗資料館長賞

四街道市 宮野俊洋

千葉日報社賞

船橋市 吉田康和

山武市芸術文化協会会長賞

市原市 田中聖子

山武市歴史民俗資料館友の会長賞

茂原市 杉崎 あかね

佳作

滋賀県大津市 船岡房公

【小学生の部】

左千夫賞

かたつむりが 光りをこぼして
歩いてく

のんびりそれでも 直線を書き

山口県光市立光井小学校 横道玄

山武市長賞

朝がおに ひまわりスイカ
ゴーヤなす

オクラクがお わが家七草

山武市立緑海小学校 石橋美和

山武市議会議長賞

九十九里町立豊海小学校 今関芽南

山武市教育委員会教育長賞

匝瑳市立吉田小学校 椎名望結

山武市社会教育委員長賞

山武市立大富小学校 鈴木実紘

山武市歴史民俗資料館長賞

山武市立成東小学校 吉村実穂

千葉日報社賞

九十九里町立豊海小学校 佐久間瑞稀

山武市芸術文化協会会長賞

匝瑳市立吉田小学校 刈茂美緒

山武市歴史民俗資料館友の会長賞

山武市立成東小学校 國分まひる

佳作

山武市立大富小学校 とりいりゆづせい

【中学生の部】

左千夫賞

小さな手 丸めて作る 指眼鏡
子供がのぞく 不思議な眼鏡

山武市立成東中学校 飯口真琴

山武市長賞

忘れない また会いたいな

あの場所

戻れないかな 過去の自分に

山武市立山武中学校 京谷琉翔

山武市議会議長賞

大網白里市立増穂中学校 松田奏音

山武市教育委員会教育長賞

芝山町立芝山中学校 細淵悠太

山武市社会教育委員長賞

山武市立山武望洋中学校 押尾美季

山武市歴史民俗資料館長賞

大網白里市立大網中学校 松野にこ

千葉日報社賞

大網白里市立増穂中学校 中山日向葵

山武市芸術文化協会会長賞

大網白里市立大網中学校 柳沙良

山武市歴史民俗資料館友の会長賞

山武市立成東中学校 野島千尋

佳作

山武市立山武望洋中学校 川嶋悠太

【高校生の部】

左千夫賞

いつ見ても 桜のように 君笑う
つられて僕の 桜も咲くよ

成東高等学校 田邊心優

山武市長賞

クリスマス 君を失った 静寂を
思い出させる 打ち上げ花火

成東高等学校 川田琢磨

山武市議会議長賞

成東高等学校 伊東聡子

山武市教育委員会教育長賞

成東高等学校 庄司晴紀

山武市社会教育委員長賞

成東高等学校 豊田莉心

山武市歴史民俗資料館長賞

成東高等学校 新谷 羚

千葉日報社賞

成東高等学校 西岡光雅

山武市芸術文化協会会長賞

成東高等学校 後遠田るみ

山武市歴史民俗資料館友の会長賞

松尾高等学校 小嶋茉央

佳作

成東高等学校 浅田伊織

全体の講評(日高堯子先生)

この度の左千夫短歌大会の詠草を読んでまず思ったことは、日々を生きる感慨が真摯に丁寧に歌いとられているということであった。そしてそこに、草木などの自然や歴史といったこの地の風景が色濃くあることにも気づいた。伊藤左千夫の歌の心が深く根づいているようで、そのことを眩しく思ったのである。

小、中、高校生の投稿歌の多さにも驚いた。小学生、高校生の歌は一千近く、中学生の歌は千を優に越えている。その中から選り入れるのはそれぞれたった十人。心を惹かれる歌が選外の歌にも多くあったことを記しておきたい。子供ならではの無垢な言葉、あるいは青春ならではの新鮮な感覚や表現に、選者があつと驚いたり、刺激されたりしたことたびたびであった。

令和5年度奨学資金貸付募集

修学に必要な資金を無利子で貸し付けします。

【申込資格・条件】 大学に入学が決定しているか在学中の方で、次のすべてを満たす方。

- ① 父母（またはこれに代わる方）が5年以上市内に住所を有していること。
- ② 家庭の事情等により、学費の支弁が困難であること。
- ③ 健康で学業に対する意欲があり、学長または出身学校長の推薦を得られること。
- ④ 他から奨学資金の支給または貸与を受けていないこと。
- ⑤ 申請者の世帯で山武市の市税に未納がないこと。

※申請には、2名の連帯保証人が必要となります。

【貸付額および募集人数】

- ・ 修学金（月額4万円以内）
 - ・ 入学準備金（30万円以内）
- 第1期：3人 第2期：2人

【提出書類】

- ① 山武市奨学資金貸付申請書
- ② 山武市奨学資金推薦書
- ③ 出身高等学校等の調査書又は成績証明書
- ④ 世帯全員の住民票の写し
- ⑤ 同一世帯で所得のある方全員の収入を証する書類（令和4年分源泉徴収票、確定申告書等の写し等）
- ⑥ 合格通知書の写し又は大学の在学証明書

※①②の書類は、教育総務課窓口での配布か、市ホームページからダウンロードができます。

【申込方法】 教育総務課総務企画係まで持参または郵便（簡易書留）で提出してください。

【募集期間】 第1期：2月15日（水）～2月28日（火）
第2期：3月10日（金）～3月27日（月）

【問い合わせ先】 ●教育総務課 ☎0475（80）1431

青少年のつどい大会を開催しました

12月17日（土）、さんぶの森中央体育館で山武市青少年相談員連絡協議会主催「青少年のつどい大会」が開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を5・6年生のみとし、保護者の入場も各チーム2名までに制限しての開催となりました。

市内小学校から19チーム、合計190名が熱戦を繰り広げ、ドッジボール大会を通じて交流を深めました。

参加者の熱気は寒さにも負けず、活気のある大会となりました。



優勝

松尾小学校 チーム「頑張ろう！！軍団」



準優勝

緑海小学校 チーム「フランシスコグリーン」



第3位

緑海小学校 チーム「ザビエル2世」

山武市リレーマラソン大会を開催しました！

12月24日（土）に、「山武市リレーマラソン大会」が成東総合運動公園陸上競技場を会場に開催されました。市少年スポーツクラブ連合会加盟団体及び市内の中学生・一般の方による計23チーム115名が出場しました。

